

Function and Decoration



London
ロンドン

Deauville
ドーヴィル

Paris
パリ

Lyon
リヨン

United States
アメリカ合衆国



h



g

Biarritz
ビヤリッツ

Bay-de-Luz
ベイ・ド・リュズ

観覧料
一般1,400円(1,200円)|高校・大学生900円(700円)|中学生以下無料

*()内は前売り及び20名以上の団体料金。障がい者手帳をお持ちの方(介添者1名)、豊田市内在住又は在学の高校生及び豊田市内在住の75歳以上は無料(要証明)。
*観覧料の減免対象者及び割引等については当館ウェブサイトをご確認ください。豊田市美術館へお問い合わせください。
*前売券:豊田市美術館(5月8日まで)、T-FACE B館2階インフォメーション(6月6日まで)
*感染症拡大防止のため会期、来館者の受入態勢等を変更する場合があります。当館ウェブサイトから最新情報をご確認ください。

主催:豊田市美術館 共催:中日新聞社
特別協力:東京国立近代美術館、東京藝術大学、ミサワホーム株式会社
協力:日本航空、ヤマト運輸株式会社 助成:一般財団法人地域創造

豊田市美術館 Toyota Municipal Museum of Art



[名鉄三河線豊田市駅・愛知環状鉄道新豊田駅より]徒歩15分
[名鉄三河線上学母駅・愛知環状鉄道新上學母駅より]徒歩20分
[お車ご利用の場合]東名高速道路豊田ICより約15分
東海環状自動車道豊田松平ICより約15分
伊勢湾岸自動車道豊田東ICより約20分

Modern Synchronized and Stimulated Each Other



a



b



i



j



e



d

**交歓するモダン
機能と装飾の
ポリフォニー**

Modern Synchronized and Stimulated Each Other

The Polyphony of Function and Decoration

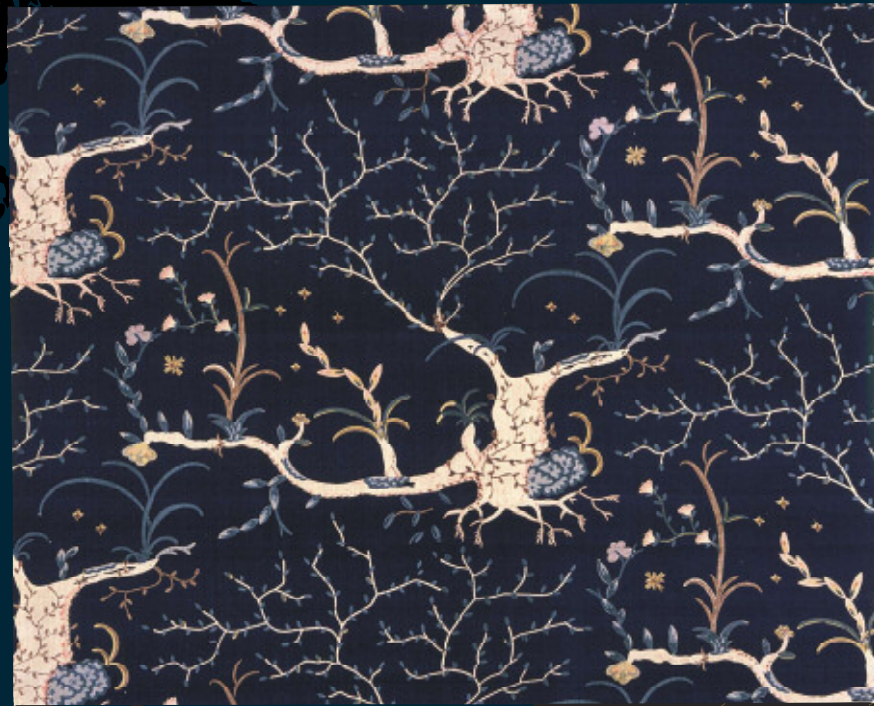
2022年6月7日(火) - 9月4日(日)

開館時間 | 10:00-17:30(入場は17:00まで)
休館日 | 月曜日(7月18日、8月15日は開館)

Modern Synchronized and Stimulated Each Other

The Polyphony of Function and Decoration

Toyota Municipal Museum of Art
豊田市美術館



交歓するモダン 機能と装飾の ポリフォニー

Modern Synchronized and
Stimulated Each Other
The Polyphony of
Function and Decoration.

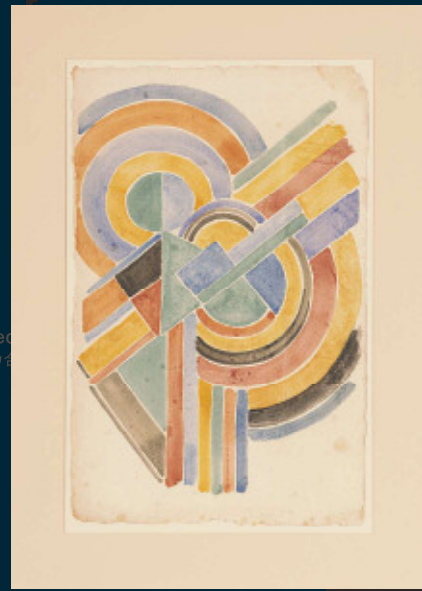
Germany

1910年代から30年代は西欧を中心に日本を含む各地で、様々な「モダン」の形が現われた時代でした。機能主義に基づく「モダニズム」は、いまだに当時の中心的な動向とみなされていますが、一方で、大衆消費社会が進化したこの時代は、常に新しくあるために装飾することに価値が置かれた、儚き「モダニティ」の時代でもありました。そしてこの対立的に捉えられてきた二つの「モダン」は、実際にはいくつもの「モダン」をうちに含み、それらは複雑に関係しながら濃密な時代を作り上げていました。

当時の作家たちは、時間差なく情報を共有し、国やジャンルを越えて同期し合い、その範囲は、絵画、彫刻から、家具、食器、洋服、さらにそれらを収める建築や都市まで、いわば、私たちの生活空間、身体活動全般におよんでいます。

ウィーン工房は、フランスのファッションデザイナー、ポール・ポワレと刺激し合い、一方で、建築家で室内装飾家のロベール・マレ＝ステヴァンなど同国のモダニストにも影響を与えました。その生活全般への眼差しはまた、日本で新しい生活様式を模索した森谷延雄や斎藤佳三らにも共有されるものです。同時主義絵画で知られるソニア・ドローネーはファッションの仕事に専心し、建築、家具デザインを手がけたルネ・エルブストラモダニストは都市を彩るショーウィンドウデザインに大きな関心を抱きました。そして、ドイツのパウハウスでは女性作家が織物に新たな光を当て、また同校を離れた作家たちが、ブルクギービヒェンシュタイン美術工芸学校を舞台に应用芸術教育に取り組むこととなります。

1914年に勃発した人類史上初の世界大戦が象徴するように、この時代の最大の出来事は世界が一気に同期したということでした。その急速に変化する社会のなかで、作家たちがときに交わり、ポリフォニーのように共鳴しながら探求したいくつもの「モダン」の形を紹介します。



図版クレジット

- a マルセル・ブロイヤー《クラブチェア B3 ヴァッシー》1925年 | 豊田市美術館
- b フランシス・ジュールダン《ランプ》1920-21年 | ポール・エリュアール歴史美術館
- c マリアンネ・プラント《ブックエンド》1930 | 32年 | 宇都宮美術館
- d ガブリエル・シャネル《イブニングドレス》1927年頃 | 鳥根県立石見美術館
- e アンドレ・グルー 《デザイン》、マリイ・ローランサン 絵付、アドルフ・シャノー 制作《椅子》1924年 | 東京都庭園美術館
- f 斎藤佳三《「想ひを助くる部屋」飾窓》1927年 | 東京藝術大学
- g アトリエ・マルティニス/ロジース《本物のオー・デ・コロソ》1912年頃 | 海の見える杜美術館
- h マルガレーテ・ハイマン・マルクス《ティーセット》1930年 | 宇都宮美術館
- i ビエール・シャロー《フロア・スタンド「修道女」》1923年 | 国立工芸館
- j ヨーゼフ・ホフマン《センターピース・ボウル》1924年 | 藤田真理子氏蔵
- k ダゴベルト・ベッヒェ《テキスタイル「生命の木」》1911-16年頃 | 鳥根県立石見美術館
- l ソニア・ドローネー《リズム》1915-30年 | 京都国立近代美術館 © Pracusa 20220322
- m グンタ・シュテルツル《テキスタイルのデザイン》1927年 | ミサワホーム株式会社 © VG BILD-KUNST, Bonn & JASPAR, Tokyo, 2022 E4625
- n フェリーチェ・リックス＝ウエノ《テキスタイル「クレムリン」》1929年 | 鳥根県立石見美術館
- o アトリエ・マルティニス《壁紙「バラ畑」》1912年頃 | パリ装飾美術館 © MAD, Paris
- p パウル・クレー《花ひらく木をめぐる抽象》1925年 | 東京国立近代美術館



会期中一部展示替えをします
前期 7月24日(日)まで 後期 7月26日(火)から

関連イベント
詳細が決まり次第、当館ウェブサイト等でご案内します。

同時開催
コレクション展 色、いろいろ

次回開催
ゲルハルト・リヒター展
2022年10月15日(土) - 2023年1月29日(日)

豊田市美術館 471-0034 愛知県豊田市小坂本町8-5-1
Tel. 0565-34-6610 | Fax. 0565-36-5103
Toyota Municipal Museum of Art e-mail. bijutsukan@city.toyota.aichi.jp
https://www.museum.toyota.aichi.jp